

令和5年度 第1回瑞浪市男女共同参画社会推進会議要旨

日時:令和5年5月29日(月) 13時30分～16時00分
(内 学習会:14時38分～16時00分)

会場:瑞浪市役所 2階大会議室

出席者(敬称略): 渋谷典子、古澤辰広、成瀬良美、浅沼克郎、野田順子、大島紀美夫、
中山千鶴、丸山良美、大竹悦子、安藤士月、唐蓉嵐、須藤茂美、
鈴木実千江、西尾正浩、安藤友美、柴田洋子、宇井壮五
〈事務局〉 まちづくり推進部長 小木曾昌弘、生活安全課長 工藤雄一
生活安全課人権啓発係 永田智恵、渡邊栄子

議事:(1)令和4年度 瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動報告について
(2)令和5年度 瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動計画について
(3)その他

内容

(進行:事務局)

1. まちづくり推進部長あいさつ

(部長) 省略

2. 自己紹介

- ・会議参加者による自己紹介
- ・事務局による自己紹介

3. 瑞浪市男女共同参画社会推進会議の役割について

(事務局)説明

4. 座長の選出

(事務局)次に、「4 座長の選出」でございます。資料2の当推進会議要綱の第4条により、参加者の互選によって座長を定めることとなっておりますので、皆さまにお諮りいたします。選出についていかがいたしましょうか。

〈間〉

特にご意見がないようですので、事務局から提案させていただきます。事務局案として、座長には、昨年度まで当会議の座長、また当会議の前身である「推進委員会」の顧問と、通算12年にわたり務めていただいております、NPO 法人 参画プラネット 代表理事の渋谷典子さんを推薦いたします。皆さま、よろしければ、拍手をもってご承認をお願いします。

〈参加者 拍手〉

参加者の皆さまからご承認をいただきました。渋谷さん、座長推薦について、いかがでしょうか。(渋谷氏)お引き受けいたします。

(事務局)お引き受けいただき、ありがとうございます。それでは、渋谷典子さんが座長に選出されましたので、さっそく議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、渋谷先生にお願いしたいと思います。渋谷先生、よろしくお祈りいたします。

5. 議事

(1)令和4年度 瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動報告について

(座長)事務局より説明願います。

(事務局)資料に基づき説明

(座長)ありがとうございました。何かご質問等がありますか。ご質問がないようですので、議事(1)は承認されました。次に移ります。

(2)令和5年度 瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動計画について

(座長)事務局より説明願います。

(事務局)資料に沿って説明

(1)推進会議(4回程度)

第1回 令和5年5月29日(月)

第2回 令和5年9月頃

第3回 令和5年11月11日(土)／市民講演会終了後

第4回 令和6年2月下旬

(2)推進会議参加者学習会

日時:令和5年5月29日(月)／第1回推進会議終了後

テーマ:男女共同参画社会を実現するために

講師:NPO 法人参画プラネット 代表理事 渋谷典子氏

(3)市民向け学習会・講演会

日時:令和5年11月11日(土)

会場:総合文化センター3階講堂

テーマ:アンコンシャス・バイアス(性別による無意識の思い込み)

講師:NPO 法人参画プラネット 常任理事 中村奈津子氏

演題:(案1)その思い込み、大丈夫?～さらに進めよう!男女共同参画

(案2)その思い込み、大丈夫?～男女共同参画社会の実現に向けて

(案3)その思い込み、大丈夫?～男女共同参画!はじめの一步

この講演会は、本推進会議と市が共催で開催するものです。皆さまには、講演会当日、スタッフとして運営していただくこととなりますので、ご予約をお願いいたします。演題等につきましては、本日、皆さんと一緒に考えたいと思っております。次回、第2回推進会議にて、スケジュールや役割分担等、詳細を決めたいと考えております。新任の方もいらっしゃいますので、講師についてと、このテーマに決定した理由を、簡単にご説明いたします。はじめに、講師の中村奈津子さんについてですが、渋谷先生と一緒に活動していらっしゃる、NPO法人参画プラネットの常任理事でいらっしゃいます。中村さんは、2006年度から名古屋市男女平等参画推進センターの業務に携わり、2010年度から2013年度まで 副センター長を務められました。その後、愛知淑徳大学 ジェンダー・女性学研究所の職員となり、現在は、愛知淑徳大学・愛知教育大学等で、非常勤講師としてジェンダーに関する講義を担当されています。このテーマにした理由につきましては、アンコンシャス・バイアスとは、みんな思い込みを持っているということで、思い込みに気づかず発言をしたり、行動することによって、相手を傷つけたり、社会が良い方に発展していくのを阻害したりしているのではないかということが、近年注目されています。また、内閣府の男女共同参画局でも着目されており、毎年、男女共同参画週間(6月23日から29日まで)に合わせて募集している、男女共同参画週間キャッチフレーズも、今年度は「無くそう思い込み、守ろう個性 みんなでつくる、みんなの未来。」に決定されています。思い込みに気づくことによって、相手のことを思って行動できたり、話しかけたりできるようになります。1回講演を聞いたところで解決はしませんが、きっかけづくりになるような講演会にしてはどうかと考え提案させていただき、前回この会議で承認をいただいております。また、市民のみなさんが参加しようと思えるような演題等を考えましょう。ということになりましたので、今会議で、皆さんと演題等について決めたいと思っております。また、皆さん

んのご意見を参考にチラシを作成したいと考えております。講演会の進め方等についても、皆さんのご意見をお聞きできたらと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(座長)ありがとうございました。

講演会は11月11日です。みなさんに伝えたいことのテーマを3つ提案しました。資料4にあるように前半部分は同じで「その思い込み、大丈夫?～」とあり、後に続く言葉の1つ目が「さらに進めよう! 男女共同参画」、2つ目が「男女共同参画社会の実現に向けて」、3つ目が「男女共同参画! はじめの一步」と考えました。他にアイデアがあれば出していただきながら決めたいと思います。みなさんがお友だちを誘いやすいテーマになればと思います。ご意見、ご提案、ご質問はありますでしょうか。「アンコンシャス・バイアス」という言葉は分かりにくいではないかと思ひ、控えています。当日は一方的なお話だけでなく、前半は「アンコンシャス・バイアス」のお話をして、後半は、講師の中村さんと私がお話をしながら進め、その間に参加者の方たちもお話ができるような構成にしたいと思ひます。グループワークだと参加者の方も緊張してしまうかもしれないので、前と後ろの人でお話をさせていただくような時間を盛り込めたらと思ひます。コロナが終息すればこのような時間も取れると思ひます。中村さんは全くの専業主婦から、いろいろなことをしながら今の大学で非常勤をしていますので、児童館の方が、お子さんを育てていらっしゃる方などを誘っていただけると、中村さんが子育てをしながらどのように活動していたのか話すことができると思ひます。きっとお互いに共有できることがあると思ひますので、ぜひお誘いください。どのような言葉を入れたら参加してくれそうですか。「子育てしながらジェンダーの活動をしてきました」そんな言葉も入れましょうか。

(参加者)自分は男なので、「子育て」と入ると、男性が参加しづらくなってしまいかもしれません。女性限定であれば「子育て」でいいかなと思ひます。この中だと(案1)がいいと思ひます。

(座長)中村さんは、子育てをしながら、週1回か2回、パートとして活動してみえました。そしてだんだん時間を増やしていき、お子さんが熱を出した時に、夫婦で話し合いをして、会議がない方が休むというような方法を取り、夫も変わっていったそうです。確かに「子育て」と銘打ってはいけないと思ひますが、男性も足を運んでもらいたいと思ひます。男性も、子育てをしながら仕事をすると大変さを分かち合っていくことが伝えられたらいいと思ひます。今、(案1)に一票入りました。

(参加者)私は(案2)がよいと思ひます。今まで、ある程度頑張ってきたので、更なる実現に向けて改めて考えるといいと思ひます。

(参加者)男女共同参画について、若い世代の方たちはわりと進んでいる感じを受けますが、私たち世代以上の方が問題だと思ひています。我が家もここ3年で、主人が、介護で会社を休んでくれるようになりました。私の中では、「進めよう! 男女共同参画」をわかりやすい感じで伝えられたらいいと思ひます。

(参加者)どれも良いと思ひますが、(案1)は男女共同参画に関わってきて「さらに」というイメージを持ちました。(案3)は「はじめの一步」ということで、講演会に来てくださるのは初めての方が多いかもしれないので、そのような意味合いを受けます。男女共同参画社会推進会議では、男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいますので(案2)がよいと思ひます。

(参加者)先ほどの話の中で、夫婦が二人で来て一緒に講演会に参加し、話し合いができるようなイメージができたのですが、男女共同参画という言葉が分かりにくい印象を受けます。どうしてもこの言葉を入れないといけないようなら下の方に入れておくとか、「その思い込み大丈夫? どっちが休むの? 今日の仕事は。」のような、もっと分かりやすい言葉を使うとよいと思ひます。仕事であれば、女性が休まないといけないのは思い込みで「男性が休んでもいいんじゃない?」とか、介護であれば、「今日はどちらが迎えに行く?」など、もう少し具体的な言葉が使われていると誘いやすいです。若い方に伝えやすく、「そうしたいのだけど旦那がなかなか」と言うなら、「二人で来ればいいんじゃない?」と誘いやすいような、そういう場所を作ってあげることが男女共同参画だと思ひます。もっと言葉を具体的にしてチラシの中に入れてはどうでしょうか。

(座長)素晴らしい提案をありがとうございます。今、ご夫婦という話もありましたが、企業でも「アンコンシャス・バイアス」の研修が優良なのです。「どっちが休んでもいいでしょ」など、できる人がやる、というような話し合いが大事です。話し合いをする雰囲気が家族の中に無いとか、企業の中でも「やりなさい」というような命令になっている場合は、話し合いのきっかけづくりになるでしょうね。

タイトルで人が集まることは実際にありましたので、タイトルは大事だと思います。興味を引くタイトルであれば誘いやすいですしね。

(参加者)具体的な方が、そこに行こうかなという動機付けになるとと思います。ただ、いっぱい書くと長くなるし、どうしたらよいか悩んでいます。中村さんのご講演されるエキシミたいなところに、「明日どっちが休む？」のようなことを話し合っ決めて、生活していける。というような内容だとお聞きました。エキシになるようなコメントを3行ぐらい載せることができれば、タイトルはタイトルとして抽象的かもしれないが、今ここでのまとまりはつくかと思います。

(座長)吹き出しで3つぐらい目立つように入れるといいでしょうか。

(参加者)アンコンシャス・バイアスに関わるような生活場面の中で、世代にもよるかもしれませんが、そういうことがあるのですよね。例えば、夫が料理を作り、「ご飯できたよ」と言いました。そうすると、うちの場合、すぐ食べればいいものの、後片づけが少し残っていて、それをやらないと自分が席につけないというバイアスがかかっていると思っています。できたら温かいうちに食べなさいよねと思っています。自分の生活の中ではそのように感じていますが、そういった場面が色々あるのではないかと思います。家事、育児、掃除、洗濯、食事とあり、一番大変なのは食事だと思いますが、それをやっていくのが子育て世代は大変な負担になってきているのではないのでしょうか。

(座長)どちらかというと、テーマは家庭生活のことを主とした方がいいですか。企業だとまた違ってきますよね。

(参加者)ターゲットはどういう感じでしょうか。ターゲットが決まらないとタイトルも決まらないと思います。

(座長)確かにそうですね。家族の話とか職場の話とか両方盛り込む感じですか。みなさんが誘いやすい対象者はどういう方ですか。本当はあまり参加されない方を呼びたいのですよね。配布資料の中のオンライン講座のチラシを見ているのですが、ここに吹き出しが出ていますよね。今、このチラシのどこを見ましたか。このようにいくつか吹き出しを付けて目につくチラシを作るといいのではないのでしょうか。「どう選ぶ？わたしのこれから」とか、「どう選ぶ？私の暮らし」、「予想外が起きたら？」というのもいいですね。どうでしょうか。

(事務局)講演会は、お声を掛けても例年60～70代の人が多いのが現状です。幅広い世代の方に聴いてもらいたいのと、せっかくご参加いただいた方に持ち帰ってもらえるような内容が良いと考え、提案させていただきました。今いただいたご意見のとおり、テーマだけ決めて、吹き出しで、例えば「夕食を作るのは私なの？」という家庭のこと、「育児のために僕が休んじゃダメなの？」という企業のこと、また、自治会、地域のことなどいろいろな分野に関する吹き出しを作れば、自分に該当するんだなと思えるのではないのでしょうか。座長が言われたように、吹き出しがあると目をひくので、身近に感じるようなコメントを入れて吹き出しをつくるのも良いと思います。

(座長)中村さんにも聞きながら、吹き出しの検討をしてみたいです。個別にご意見があれば、事務局にお寄せください。「その思い込み大丈夫？」まではいいですか。その先、男女共同参画という言葉を入れるかどうかですよね。

(参加者)この会が、男女共同参画推進会議なので、行政は男女共同参画となっていますが、実際には、ジェンダー平等とか男女平等を進めていきたいということだと思います。男女共同参画は分かりにくいことでもあります。ジェンダー平等という言葉は新聞には出てきていますので、そういう言葉を使った方が本質的だと思います。学校は学校でやられると思うので、職場、家庭、自治体の3つの枠にあったような「男女が・・・」などの吹き出しをつくり、できれば「ジェンダー平等」という言葉を

入れるといいのかなと思います。

(座長)SDGsもそうですね。市が「ジェンダー平等」という言葉を入れられるのであれば、男女共同参画を男女平等やジェンダー平等に置き換えると、比較的分かりやすいかと思います。今、ジェンダー平等ということに関心が高まっているので「ジェンダー平等」と入れるといいのではないのでしょうか。

(事務局)確かに「ジェンダー平等」という言葉の方が、みなさんに浸透しており、SDGsのひとつにもなっていますので、受け入れやすいのではないかと思います。それで進めていきたいと思います。

(座長)案の中では、比較的、(案1)か(案2)が多かったのですが、どちらか決めますか。では、(案1)「その思い込み大丈夫？さらに進めよう！ジェンダー平等」、(案2)「その思い込み大丈夫？ジェンダー平等の実現に向けて」の2つでいかかでしょうか。何か他にご意見があればお願いします。

(事務局)学習会の後に、受講者アンケートを書きいただきますが、そこに、どちらがいいか理由も含めて書いていただき、そのアンケート結果を基に考えさせていただくのはどうでしょうか。吹き出しのコメントについては、ご提案があればまた後日教えていただき、それも取り入れて考えたいと思いますがいかがでしょうか。

(座長)これからの学習会でも気づきがあるかもしれないので、その後にアンケートにお書きください。

(案1)か(案2)で、男女共同参画をジェンダー平等に変えるというところまで決めたということでしょうか。

《参加者 同意》

他にご質問等がありますか。

《間》

他にご質問がないようですので、事務局の提案のとおりとし、市民講演会の演題等については、皆さんのアンケートの結果を考慮して、事務局と座長が相談の上、決定するというところでよろしいですか。それでは、ご賛同いただいた案のとおり進めますので、ご協力をお願いします。

議事(2)は承認されましたので、次に移ります。

それでは、議事(3)その他について、事務局より説明してください。

(3)その他

①瑞浪市人権施策推進ネットワーク会議参加者の推薦について、

②瑞浪市行政改革審議会委員の推薦について

(事務局)①、②を一括して説明させていただきます。

はじめに、①「瑞浪市人権施策推進ネットワーク会議参加者の推薦について」ご説明します。瑞浪市では、「第2次瑞浪市人権施策推進指針」に基づき、人権教育及び人権啓発に関する施策について、専門的な見地から、あるいは各種団体のメンバーとしてのお立場から、幅広く意見や助言をいただくために「人権施策推進ネットワーク会議」を開催します。任期は、令和5年度・6年度の2年間で、年間2回から3回の会議、また令和5年度は講演会を開催します。この会議へは、例年、男女共同参画社会推進会議からも1名ご参加いただいておりますので、令和5年度・6年度につきましても、よろしく願いいたします。可能であれば、当会議参加、2期目以上の方で女性をご推薦いただけるとありがたいと考えております。

次に、②「瑞浪市行政改革審議会委員の推薦について」ご説明します。瑞浪市では、効率的な行政運営のため行政改革を推進しており、「第5次行政改革大綱」に基づく具体的な行動計画の評価をしていただき、「行政改革審議会」を設けております。こちらは、企画政策課の所管となります。任期は、令和5年度の1年間で、6月から10月までに3回程度の会議を予定しているということです。この会議へは、当会議から女性1名を推薦いただきたい旨依頼がございましたので、よろしく願いいたします。可能であれば、当会議参加、2期目以上の方をご推薦いただけるとありがた

いと考えております。

(座長)まず、「人権施策推進ネットワーク会議」参加者の推薦について、いかがいたしましょうか。

《 間 》

立候補等ないようでしたら、今回3期目を務めていただきます 鈴木実千江さん、いかがでしょうか。

(鈴木)お引き受けいたします。

(座長)ありがとうございました。それでは鈴木さんを、瑞浪市人権施策推進ネットワーク会議の参加者に推薦することとします。よろしくお願ひします。

続きまして、「行政改革審議会」委員の推薦について、いかがいたしましょうか。

《 間 》

立候補等ないようでしたら、当会議に長くご参加いただいております 大竹悦子さん、いかがでしょうか。

(大竹)お引き受けいたします。

(座長)ありがとうございました。それでは、大竹さんを瑞浪市行政改革審議会の委員に推薦することとします。よろしくお願ひします。

それでは、その他の事項について、事務局から説明願ひします。

(事務局説明)③～⑧一括して説明

③「瑞浪地区まちづくり推進協議会講演会」について

④リーフレット「デートDVを知ろう」について

⑤岐阜県男女共同参画・女性の活躍支援センターについて

(就労・子育てに関するオンライン講座(キャリ☆ナビ))

⑥「考えよう！女(ひと)と男(ひと) 共生時代」について(岐阜県発行)

⑦「ちょっといい話」募集事業(締切9月29日)について

⑧人権書道展募集事業(締切9月29日)について

(座長)ありがとうございました。それでは、これで議事がすべて終了しましたので、事務局に進行をお返しします。

(事務局)渋谷座長、スムーズな議事進行をありがとうございました。議事がすべて終了しました。

6. 学習会

○テーマ:男女共同参画社会を実現するために

講師:NPO 法人参画プラネット 代表理事 渋谷典子氏

○グループワーク

第2次みずなみ男女共同参画プラン(後期) について

第2次後期プラン(現行プラン)の施策のうち、関心のある施策について上位3つを選び、グループで話し合い、発表。(各自付箋をつける。1番 桃色、2番 黄色、3番 青色)

(事務局)それでは、これより第2部「男女共同参画を実現するために」と題しまして、渋谷先生による学習会に移ります。渋谷先生、よろしくお願ひします。

<学習会、グループワーク>

Aグループ

- ・事業所等への働きかけ
- ・女性の就労支援
- ・男性の働き方の見直し

事業所等への働きかけと男性の働き方の見直しをセットで行う必要がある。

夫婦一緒に子育てをするには、男女ともに職場での働き方の見直しが必要で、事業所等への働きかけが必要。

Bグループ

- ・男女共同参画に関する意識の普及・啓発
- ・職場などでの人権侵害(セクシャル・ハラスメント等)の防止
- ・男性の働き方の見直し

働き方、生活と仕事のワーク・ライフ・バランスの中で、生活を円滑にと考えると、男性の休みづらさがある。性被害は女性に限ったことではなく男性にもある、当事者が性被害について言えるようになってきたということが第一歩。

Cグループ

- ・男女共同参画に関する意識の普及・啓発
- ・附属機関(審議会等)における女性の参画の推進
- ・女性リーダーの育成
- ・自治会活動における男女共同参画の推進
- ・男性の働き方の見直し

意識的なことや、自治会や社会に関係するところに関心がある方が多かった。男性が正社員で女性がパートだと、男性が育休を取得することがなかなか進まない。

Dグループ

- ・男女共同参画の視点に立った慣習・しきたり等の見直し
- ・性差に応じた健康づくりの支援
- ・自治会活動における男女共同参画の推進
- ・防災活動等における男女共同参画の推進
- ・介護への支援
- ・男性の働き方の見直し

無意識の思い込みにより慣習やしきたりが改善されていない。性差に関する教育も重要。地域活動、防災の分野でも女性の視点が必要。世代や置かれた立場により、気になる施策はさまざま、多くの意見を聞いたうえで施策を考えていかなくてならない。

(工藤課長)渋谷先生、ありがとうございました。みなさん、お疲れさまでした。

本日の会議、全体を通してのご質問やご意見等、ございませんか。

次回の会議は、9月頃を予定しております。開催日が決定しましたら、皆さまにご連絡させていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、これもちまして、「令和5年度 第1回瑞浪市男女共同参画社会推進会議」を閉会します。長時間にわたりお疲れさまでした。お帰りになる前に、お手元のアンケート用紙にご記入願います。また、アンケート用紙に、議事(2)の11月11日の講演会の演題について、案1か案2のどちらが良いか、理由も含めてご記入ください。記入され方より提出の上、順次お帰りください。ありがとうございました。

《閉会》